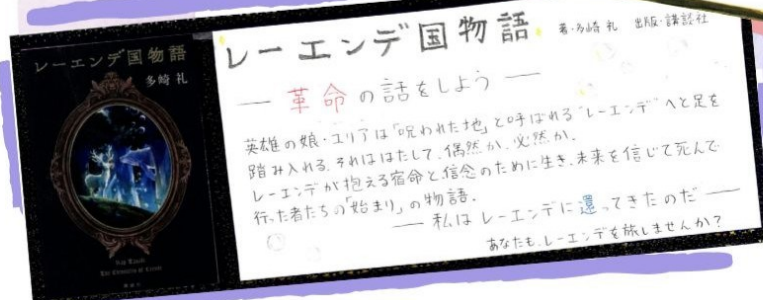
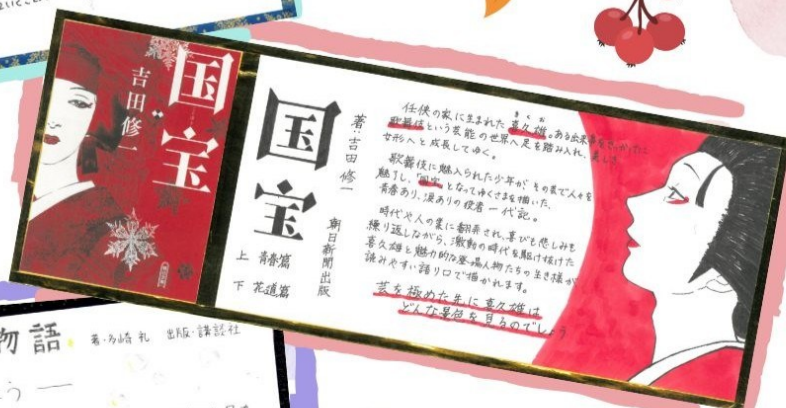
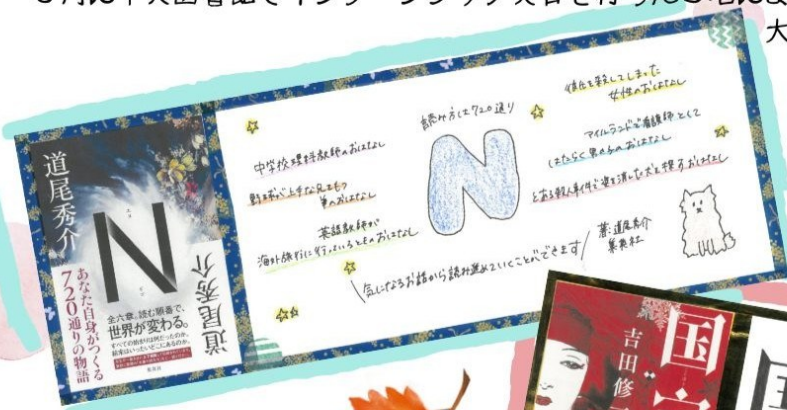


青春本棚通信 第37号

インターンシップ生によるPOP紹介!

8月に中央図書館でインターンシップ実習を行った3名による、本の紹介POPです。

大学生がみなさんにおすすめする本とは?



※掲示板用

図書館投稿のススメ ～ 青春本棚であなたの想いを表現してみよう ～

1. ひとことカード

図書館や本についての質問や意見、つぶやきなどを投稿してください。
中央図書館「青春本棚」の**掲示板**に回答を添えて貼り出します。

2. 青春☆POP

お気に入りの本を紹介するPOP(ポップ)を投稿してください。紹介本の表紙写真を添えて中央図書館「青春本棚」に展示します。

3. 表紙イラスト

『青春本棚通信』の表紙を描いてみませんか? 投稿用紙のほか、**A4サイズ以内ならケント紙、画用紙、ハガキ等**に描いてもかまいません。画材も自由です。あなたのイラストをみんなに見てもらおう!

松山市立中央図書館(中央図書館事務所)

〒790-0012 松山市湊町七丁目5番地 松山市総合コミュニティセンター内

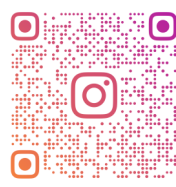
電話番号:089-943-8008 / E-Mail:tosyokan@city.matsuyama.ehime.jp



◆ 図書館ホームページ



◆ 蔵書検索 (OPAC)



MATSUYAMA.LIB

◆ 図書館公式Instagram





速報!

第12回松山市立中央図書館

ビブリオバトル

紹介本一覧!



今年は坂の上の雲ミュージアムにて初開催!

9月21日(日)、坂の上の雲ミュージアムにて、

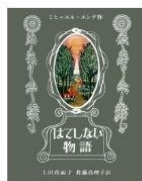
『第12回松山市立中央図書館ビブリオバトル』を開催しました。

ビブリオバトルとは、発表者(バトラー)がそれぞれ持ち寄った、おすすめの一冊について5分間紹介し、その本について参加者全員で2分間ディスカッションを行ったのち、最期に「どの本が一番読みたくなったか」の投票により**チャンプ本**を決定する**知的書評合戦**です。

今年は中学生3名、高校生9名の総勢12名がエントリー。6名一組の2部制で行い、各組のチャンプ本を決定しました。

チャンプ本はこちら

はてしない物語



ミヒャエル・エンデ/著
(岩波書店)

バトラー
高野 葉月さん
(松山市立日浦中学校3年)

信仰



村田 沙耶香/著
(文藝春秋)

バトラー
徳永 椋太さん
(新田高等学校2年)

『コンビニ人間』
村田沙耶香/著・文藝春秋
バトラー:明照悠吾(済美平成中等教育学校4年)

『ちいさなちいさな王様』
アクセル・ハッケ/著・講談社
バトラー:平岡春晴(愛媛県立伊予高等学校1年)

『羊と鋼の森』
宮下奈都/著・文藝春秋
バトラー:山口真奈(愛媛大学附属高等学校1年)

『火花』
又吉直樹/著・文藝春秋
バトラー:濱名史歩(愛媛県立松山西中等教育学校2年)

『朔と新』
いとうみく/著・講談社
バトラー:大澤俐乃(愛媛県立松山西中等教育学校2年)

『はてしない物語』
ミヒャエル・エンデ/著・岩波書店
バトラー:高野葉月(松山市立日浦中学校3年)

『一次元の挿し木』
松下龍之介/著・宝島社
バトラー:福島歩(松山学院高等学校2年)

『スガリさんの感想文はいつだって斜め上』
平田駒/著・河出書房新社
バトラー:清水ひまり(愛媛大学附属高等学校2年)

『僕は小説が書けない』
中村航, 中田永一/著・KADOKAWA
バトラー:花崎来未(新田高等学校2年)

『本を守ろうとする猫の話』
夏川草介/著・小学館
バトラー:森春華(新田高等学校3年)

『盲目的な恋と友情』
辻村深月/著・新潮社
バトラー:喜田亜佳莉(鹿島朝日高等学校3年)

『信仰』
村田沙耶香/著・文藝春秋
バトラー:徳永椋太(新田高等学校2年)

大会の詳細は次号の
青春本棚通信
(来年1月発行予定)にて!!

Instagramでも
イベントの様子を
紹介しています!!



MATSUYAMA.LIB



青春ひとことLINE ～ 図書館の人にきいてみた ～

2025年7月～9月に投稿された『青春本棚ひとことカード』を紹介するコーナーです。

中・高校生を中心に、時には小学生から大学生まで、好きな本や図書館員のオススメ本、話題の本や本探しのコツなど、みんなでシェアしたい話題がたっぷり！みなさんのひとことをお寄せください。(投稿方法は表紙下部にあります)

(小5: 推しの子さん)

最近、午前中お留守番の日が続いています。一人でも楽しめる本はありませんか？



(図書館)

夏休みのお留守番ということで、夏が舞台の小説を集めてみました！

『キツネ山の夏休み』喜安陽子/著(あかね書房)、『魔法使いが落ちてきた夏』タカシニコ/著(理論社)、『恐竜がくれた夏休み』はやみねかおる/作・武本糸会/著(講談社)はすべて、ひと夏のファンタジー小説です。

『シャイローがきた夏』フィリス・レイノルズ・ネイラー/著(あすなろ書房)は、子犬との出会いをきっかけに成長する少年の物語です。続編に、『シャイローと歩く秋』もあります。



(小5: あゆさん)

最近、「ちはやふる」にはまっています。何の本が好きですか？

(図書館)

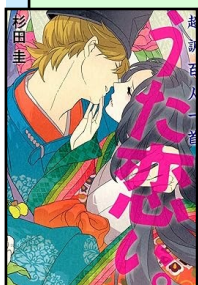
私も「ちはやふる」大好きです！ちはやふるの小説は、映画ノベライズ版のものと、原作漫画で描かれなかった千早たちの中学生時代が描かれた、『小説ちはやふる中学生編 全4巻』時海結以/著(講談社)の2種類ありますよ！中学生編は中央図書館にもあるのでぜひ！



好きな本ですが、百人一首の本を読むのが好きです。実は百人一首がきっかけで「ちはやふる」にも興味を持ちました！

もし、「ちはやふる」きっかけで百人一首に興味があったなら、『超訳百人一首うた恋。』杉田圭/著(メディアファクトリー)をおすすめします。

恋愛歌をメインに、コメディタッチの短編漫画集にしたもので、百人一首に詳しくなくてもすらすら読めると思います。こちらは移動図書館にあるので気になったら予約をかけてみてください♪



(高1: NPさん)

音楽が好きで、楽器の練習本を読みますが、中級者だけに向けての本がなかなか見つかりません。

(図書館)

指南書は確かに、初級者向けのものが多いですが、中級者向けにアレンジされた楽譜でいろんな曲を練習するのはいかがでしょうか？



『#アオハルピアノHits2024』(シンコー・ミュージック・エンタテイメント)、『中学生・高校生のピアノヒットソングス 2024年秋冬号』(シンコー・ミュージック・エンタテイメント)などは、タイトルに書いていませんが、中級者向けにアレンジされた楽譜のようです。

検索画面で、「ピアノ(ギター) 中級」といれるといくつかヒットします。お気に入りの一曲を、すてきなアレンジで楽しんでください！

(中1: TKGさん)

読みやすく、読書感想文が書きやすい小説と、うまく書けるコツを知りたいです！

(図書館)

どんな本で書いたらいいか悩んだら、やはり課題図書で書くのがいいのではないのでしょうか？年齢に合った、感想文の書きやすいテーマの本が集められています。



あとは、伝記なども感想文が書きやすいかなと思います。

ちなみに私自身、中学1年生の読書感想文はヘレンケラーの伝記で書いた記憶があります！

『読書感想文が終わらない！』額賀澤/作(ポプラ社)や、『のびる国語究極の作文力』青木伸生/監修(KADOKAWA)などは、作文がうまく書けるコツが載っている本です。今後の参考にしてみてください♪





図書館ダンジョン・エクスプローラー第31階層半地下篇



図書館ダンジョンの奥深くの秘蔵図書（閉架書庫・中央図書館以外の他館の本）が君を待っている。これらの図書は召喚呪文「予約」を使用すると入手可能となる。（ただし、召喚には予約後に少なくとも1日以上時間を必要とする。）「予約」は「蔵書検索システム使用スキル」が不可欠！図書館窓口横の魔導器（パソコン）や自身の小型魔導器（スマホ）で「図書館蔵書検索システム（OPAC）」を使用して習得しよう！なお召喚呪文「予約」はダンジョンから脱け出し旅に出ている人気本にも有効だ。難しいと感じたら、図書館窓口のスタッフに相談しよう！なお、今回はコーヒープレイクの侵攻により紹介図書は3冊のみの変則版となっている。了承されたい！

『図書館のゆるゆる人生質問箱～
中高生の悩み、質問、雑談に、図書館職員
がお応えします！』 斜里町立図書館//
著・ワニブックス



分類番号
YA-159.7-ト
中央図書館

中央図書館の青春本棚掲示板では皆さんから寄せられる「ひとことカード」に担当者が日々お答えしていますが、何と、北海道の東部、オホーツク海に面した斜里郡斜里町にある斜里町立図書館（なんかシャリシャリしているな…）にもありましたよ掲示板！しかも本になりましたよ！これは読んでみるしかないでしょう！ちなみに私の好きな質問は「周囲に好きな人がバレました。どうしたらいいでしょうか？」です。
ああ、青春♡

『名探偵と学ぶミステリ 推理小説アンソロジー&ガイド』 杉江松恋//編著・
早川書房



分類番号
YA-F-メ
北条図書館

なんとこの本では、ホームズ、ルパン、ポアロ、ミス・マープル、エラリー・クイーン、ネロ・ウルフ、ジェイムズ・ボンドといった、ミステリ好きならみんな知っている名探偵たちの未読作品が読めます！
なぜなら青崎有吾、斜線堂有紀、辻真先、水生大海など、これまた人気の作家さんたちが、それぞれの名探偵が登場する短編を書いているから！
他にも、ミステリをより面白く読むためのコラムや、著者たちによるおすすめ本紹介など、ますますミステリが好きになれる1冊です。

『曇りなく常に良く』 井戸川射子//著・
中央公論新社



分類番号
YA-F-イ
中央図書館

友達はいですか。いつも何を話していますか。友達のことはよく知っていますか？
それぞれの家族とどんなふうに暮らしていて、どんなことに悩んでいて、どんなことを考えているのかわかりますか？
わからなくてもいいんじゃないかと思う。ただ一緒に過ごして、同じ歳月を生きる。それだけで伝わるものがあるって、それはいつかとても大切なものになるんじゃないかと思う。
同じ高校に通う、仲良し五人組の女子高生の日々を描いたこの小説を読んで、そんなことを考えたりしました。

若き世代に新たな世界の扉を開く、すばらしき読書のひとときを――

本好きのコーヒープレイク



図書館で働くオトナたちはやっぱり本が大好き！そんなオトナたちは一息つくコーヒープレイクに、どんな本を読んでいるのだろうか？今回は「秋に染みる本…」ということで、某司書おすすめの三冊を一挙紹介！さあ、あなたも新しい本の扉を開いてみませんか？

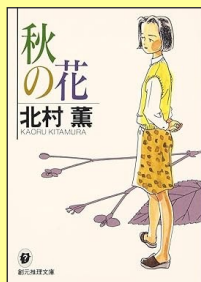
秋は切ない。騒がしい同級生である夏が駆け足（今年は競歩、くらいだったかも）で通り過ぎると、なにか物思いにふけっている静かな親友・秋がやってくる。秋の過ごしやすい気候の中では考え事もしやすくなるせいか、小説などに手を伸ばしたくなる…。という時におすすめなのが芥川龍之介の「秋」。彼は「羅生門」とか「鼻」だけでなく、こういう近代の心理小説も書いているんですね。女子大で有名な秀才だった信子、信子を慕う妹の照子、信子と結婚するだろうと思われていた俊吉、この三人のやり取りが水面下でバチバチに熱いです。読んで震えてください。

もう一冊、北村薫の『秋の花』はミステリのかたちをした、過ちと後悔と救済の物語。読んだことのある人は、この季節にこそもう一度読み直してほしい。まだ読んでいないという人は、この物語をこれから読めるという幸運に感謝して読み始めてほしい。

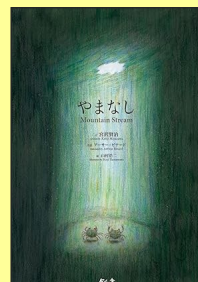
最後に、最初はきっと教科書で出会う、不思議に心に残る名作、宮沢賢治の『やまなし』を。アーサー・ビナードによる英訳も素敵だ。12月に谷川の底に「トブン」と落ちるやまなし。その実がまさに実りつつある深い秋の森に思いを馳せながら、頁を開こう。



『百年文庫 6 心』
（ポプラ社）
芥川龍之介「秋」収録



『秋の花』北村薫/著
（東京創元社）
※文庫版も有



『やまなし Mountain Stream』
宮沢賢治/文・アーサー・
ビナード/英訳（今人舎）